

台場シャトルバス「お台場レインボーバス」の運行状況について

台場シャトルバス「お台場レインボーバス」は、台場シャトルバス運営協議会が平成24年度から5年目までに収支率100%にすることを条件に運行を開始しましたが、その条件を達成できなかったため、当協議会は平成28年度末で事業から撤退し、解散しました。

平成29年度からは、令和3年度までの5年間の黒字化を目指して、区が運行経費を補助するスキームで運行しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者が大幅に減少し、期限までに黒字化を達成できなかったため、目標期限を令和6年度まで延長しました。

その後、人件費や燃料費の上昇による経費増加の影響を受け、令和6年度までの黒字化は困難と見込まれたため、目標期限を黒字化が見込まれる令和9年度まで再延長し、区の支援のもと運行を継続しています。

1 運行状況

(1) 利用者数

令和5年度の利用者数は785,037人で、令和4年度と比較して、99,070人増加しました(+14.4%)。

(単位：人)

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者数	785,037 (+99,070)	685,967 (+118,351)	567,616 (+86,678)

※ () 内は前年度からの増減数

(2) 運行収支

令和5年度の収支率は82.2%で、令和4年度と比較すると、3.8ポイント増加しました。

令和5年度の運行収入は、利用者数の増加により、約2,000万円増加しました。

一方、運行経費は、人件費や燃料費等の上昇により、約1,600万円増加しました。

(単位：千円)

年 度	運行収入			運行経費				収支	補助金	収支率
	運賃収入	広告収入等	計	人件費	燃料油脂費	その他※	計			
R5	152,014	7,475	159,489	125,915	20,321	47,798	194,034	▲34,545	34,545	82.2%
R4	132,268	7,563	139,831	118,020	19,081	41,190	178,291	▲38,460	38,460	78.4%
R3	108,862	7,002	115,864	119,283	17,179	34,435	170,897	▲55,033	55,033	67.8%

※ 車両修繕費、減価償却費、保険料、施設使用料等

(3) 運行経費補助金

令和5年度から令和9年度までの5年間で1億円を上限として、運行経費と運行収入の差額を補助しています。

令和5年度は、利用者数増加の影響により、計画値を下回る34,545,000円を交付しました。

(単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計	残額
計画値 (赤字分)	38,772	38,153	12,015	4,926	-	93,866	6,134
実績 上限(1億円)	34,545	-	-	-	-	34,545	65,455

2 令和5年度の実績

令和5年4月に、台場地域での認知度向上及び愛着醸成等を目的として、お台場学園港陽小学校の新1年生を対象に「お台場レインボーバスの乗り方教室」を実施しました。

また、国内外からの来街者の増加を見据え、品川駅及び田町駅における乗継利便性を向上させるため、駅改札から停留所までの道案内動画を作成し、案内看板やポスターを設置しました。

その他、台場地域住民へのアンケートや台場地域の企業へのヒアリング結果に基づき、停留所の新設やダイヤ改正、利用促進に関する連携策について検討しました。

3 令和6年度の実績

利用者の利便性向上と安定した運行体制確保のため、令和6年4月1日に高浜橋及び芝浦一丁目の停留所を新設し、ダイヤ改正を実施しました。

また、令和6年11月からは、お台場レインボーバスのDXの推進として、クレジットカードやデビットカード等によるタッチ決済サービスを導入し、ちいばすとの共通一日乗車券をデジタル化しました。

さらに、温室効果ガス排出量の削減に向けて、環境に配慮したハイブリッドバス2台を導入し、燃料電池バス1台を導入する予定です。

その他、台場地域の商業施設や地域にゆかりのあるコンテンツと連携したラッピングバスの運行や特別デザインの1日乗車券の販売等を実施しました。

今後も運行事業者とともに、更なる利便性向上や利用促進の取組を推進し、自主運行化に向けて収支率の改善を図ります。